SONY

4-095-335-**01** (1)

⚠警告

取扱説明書

安全のために

ご使用の前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー製品は正しく使用すれば事故がおきないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検リスト」に従って点検してください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- **ディスプレイユニットまたはメディアレシーバーから煙が出たり、焦げくさいにおいがしたら**
- **テレビを見ているときや、スタンバイ状態(画面が消えていて、本体スタンバイランプが赤く点灯中)のときに、ディスプレイユニットまたはメディアレシーバー内部から異常な音がしたら**
- **ディスプレイユニットまたはメディアレシーバーの電源LEDランプが赤く点滅をしたら**
- **ディスプレイユニットやメディアレシーバーを落としたり、キャビネットを破損したときは**
- **ディスプレイユニットやメディアレシーバー内部に水や異物が入ったら**

➡
❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35	● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　お客様ご相談センター ● ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ● 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください） ● FAX　0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災
感電

行為を禁止する記号

禁止
分解禁止
風呂・シャワー室での使用禁止
接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く
指示

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

付属のACパワーアダプターを使用する

ACパワーアダプターのあるテレビでは、付属以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

風呂・シャワー室での使用禁止

目や口に液晶を入れない/ガラスの破片にふれない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手でふれたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

禁止

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。
電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、テレビが落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。
平らで充分に強度があるところで使用してください。
また、ディスプレイユニットの取っ手を使って壁にかけたり、ひもで吊すような使い方はしないでください。落下してけがや故障の原因となります。

禁止

ディスプレイユニットを運ぶときに振り回さない

ディスプレイユニットを手に持って振り回さないでください。けがや故障の原因となります。

禁止

ディスプレイユニットを運ぶときは、取っ手を持つ

ディスプレイユニットを運ぶときは、ディスプレイユニット上部の取っ手を持ってください。
カバーやスタンドは持たないでください。カバーがはずれたり、スタンドが回転すると落下してけがや故障の原因となります。

指示

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

ACパワーアダプターのあるテレビでは、ACアダプターに布団などをかけたり、上にものを置いたりした状態で使わない

熱がこもってケースが変形することがあります。また、火災の原因となります。

禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源電圧でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

自動車の中では使わない

本機は車載仕様ではありません。

禁止

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。
また、ACパワーアダプターのあるテレビでは、他機器との接続が終わったあとは、ACパワーアダプターの電源コードをセット本体につないでから、壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜きませんと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。
アース付きコンセントにアースをつないでいる場合は、必ず最後にアースを抜いてください。

⚠注意

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

医療用機器の近くで使用しない

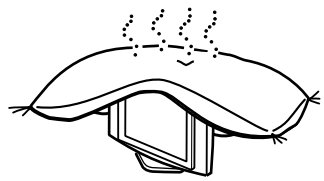
本機を心臓ペースメーカー、補聴器、その他の医療機器などや、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御装置など、または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用すると、それらの機器の誤動作の原因となることがあります。これらの機器の近くでは使用しないでください。

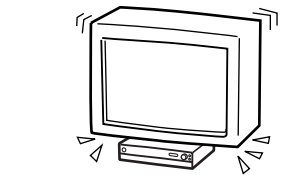
禁止

⚠注意　下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

通風孔をふさがない

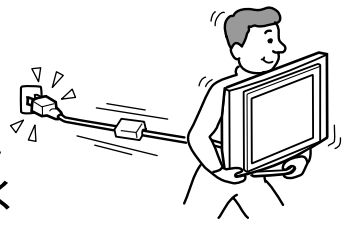
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
ディスプレイユニットを壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。壁から10 cm以上離して設置してください。メディアレシーバーは、縦置きのときは左右1 cm以上・上5 cm以上、横置きのときは左右上5 cm以上、周囲に空間を空けて設置してください。

- ディスプレイユニットを仰向けにして設置しない。
- ディスプレイユニットを棚や押入の中で使わない。
- ディスプレイユニット、メディアレシーバーをじゅうたんや布団の上で使用しない。
- ディスプレイユニット、メディアレシーバーをホットカーペットの上で使用しない。
- ディスプレイユニット、メディアレシーバーに布をかけたまま使用しない。
- ACアダプターに布をかけたまま使用しない。

メディアレシーバーは横置きの状態で上積みをしない

メディアレシーバーは横置きが可能ですが、横置きに設置する際の積み上げ使用はしないでください。また、他の機器の上にも積まないでください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

外部アンテナを取り付けるときは、落下に注意する

外部アンテナを木の柱、木製の壁に取り付けるときは、付属のネジを使ってください。石膏ボード、コンクリート壁に取り付けるときは、市販のネジを使ってください。
また、取り付けるときには落下に注意してください。

移動させるときは、電源プラグを抜く

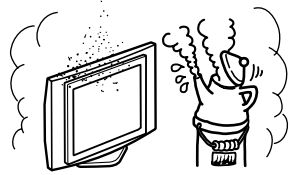
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

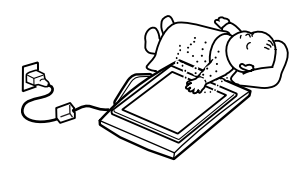
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

通電中の製品に長時間触れない

温度が相当上がることがあります。
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

人が通行するような場所に置かない
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

使用上のご注意

ワイヤレスについてのご注意

- 本機は盗聴防止機能を搭載していますが、傍受*にご注意ください。本機は無線通信を使用しているため、第三者が故意に傍受する可能性があります。機密を要する重要な通信または人命に関わる通信には使用しないでください。
  * 傍受とは、無線通信の内容を第三者が受信機で故意または偶然に受信することです。
- 本機を航空機、高精度電子機器の近くで使用すると、誤動作の原因となることがあります。これらの近くで使用しないでください。
- ワイヤレス電波状況により、映像、音声に乱れ（画面の一時停止、ブロックのノイズ、雑音）が発生することがあります。
  －電波の通りにくい壁ごしでのワイヤレス送受信
  －冷蔵庫などの大型・金属製の家具、器具などの影にある場合
  －ホームパーティなどでの人ごみ
- ワイヤレス通信が開始し、本機のシステムが起動するために約15秒必要です。この間はメディアレシーバー側の制御はできません。
- 本機はメディアレシーバーとディスプレイユニットの間のワイヤレス通信でMPEG-2方式の圧縮伸張方式を用いています。このため、ディスプレイユニットの受信映像、音声はメディアレシーバーへの入力映像、音声に比べ遅延が生じます（約0.5秒）。また、リモコンによる機器操作でも反応の遅れが発生しますのでご注意ください。
- メディアレシーバーをAVラックなどに収納して使用する場合には、付属の外部アンテナを使用してください。AVラックの影響による映像、音声の乱れを軽減できることがあります。
- 本機は国内安全規格（電気用品安全法）に基づいて製品化されていますが、まれに他の機器と干渉してノイズを発生することがあります。干渉がある場合は、他の機器との距離を離してください。
- 本機（メディアレシーバー）は冷却用ファンを備えています。周囲温度が約35℃で高速動作になります。この時にファンのノイズが聞き取れることがあります。
- 法律で禁止されている事項があります。
  この製品は、電波法38条の2第1項に基づく技術基準適合証明を受けた特定無線設備を使用しているため、ご利用に際しては下記に記載する使用条件を遵守してくださいますよう、お願いいたします。なお、使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
  －この製品による送信は、屋内でのみ可能です。
  －この製品は、日本国内でのみ使用可能です。
  －この製品（付属品を含む）の改造ならびに変更を行うことはできません。
  －この製品には付属品以外の外部アンテナを使用することはできません。

使用・設置場所についてのご注意

次のような場所での使用・設置はおやめください。
- 屋外
- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときは必ず専用の壁取付金具（別売り）を使用してください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 前面のフィルターを強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れ

スクリーン面の汚れは

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

搬送時のご注意

本機を落としたりするとけがや故障の原因となることがありますので、下記のことを必ずお守りください。

⚠注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずす。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使う。
- 本機を手で運ぶときは、本機の取扱説明書内「使用上のご注意」の指示にしたがって持ち支えるようにする。

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
- **本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。